

<b>銅・ストレプトマイシン水和剤</b> <b>銅ストマイ水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日農, Meiji <b>原体メーカー：</b> —, Meiji
<b>成分：</b> ストレプトマイシン硫酸塩〔抗生物質〕……………12.5% (ストレプトマイシンとして……………10.0%) 塩基性塩化銅〔銅〕……………58.8% (銅として……………35.0%)	<b>性状：</b> うす青緑色水和性粉末45 $\mu$ m以下 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- 予防効果の銅剤と治療効果の抗生物質を組み合わせることで細菌病に対する効果の安定化, あるいは, 耐性菌の発達による効果低下を回避することが期待される。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 高濃度では時に作物にクロロシス（黄化現象）を生じることがあるが, 通常1週間位で消失し, 作物に実害を示すことはない。
- 石灰硫黄合剤などの強アルカリ性薬剤, マシン油乳剤, チオファネートメチル剤及びタルク, ペントナイトのような吸着性物質を含む薬剤と混用しない。
- こんにやくに使用する場合, 日中高温時の散布は薬害の発生することがあるので, 朝夕の涼しい時に散布する。

- キウイフルーツに使用する場合, 新梢が10cm以上伸長した後の散布は薬害を生じるので使用時期に注意する。

- 適用作物（全般及びキウイフルーツ, こんにやく）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

- 適用外作物（かんきつ, もも, うめ, すもも類, はくさい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので, 周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 甲殻類, 藻類に影響を及ぼすので, 使用時並びに使用後も注意。
- 眼に対して刺激性がある。



### 【適用と使用法】……………

作物名	適用病害名	希釈 倍数	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	銅を含む農薬 の総使用回数	ストレプトマイシンを 含む農薬の総使用回数
こんにゃく	腐敗病 葉枯病	600～ 800倍	30日前まで	6回以内	散布	—	6回以内 (種いもへの 処理は 1回以内)
たまねぎ	軟腐病		7日前まで	5回以内			5回以内
ばれいしょ	疫病	100倍			植付前		1回
	そうか病 黒あし病						
キウイフルーツ	花腐細菌病 かいよう病	600～ 800倍	休眠期～ 蕾出現前	4回以内	散布		4回以内 (樹幹注入は 1回以内)